

# 数学

## 神戸大学[文系] (前期)

### <全体分析>

試験時間	80 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

#### 解答形式

記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

#### 出題の特徴

すべての問題で証明の設問があった。

#### 入試改革を踏まえた出題

**3**が測量に関する問題であった。

#### その他トピックス

**1**は理系と設定が同じで数値が異なる問題であった。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
<b>1</b>	複素数, 数列	数学Ⅱ 数学B	(2)は数学的帰納法を用いる。	標準
<b>2</b>	不等式の証明	数学Ⅱ	(3)は(1), (2)を利用する。	標準
<b>3</b>	図形と計量	数学Ⅰ	塔の高さ, 塔と道との距離に関する測量の問題。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

数学ⅠAⅡBの各分野からまんべんなく出題されているから、各分野をバランスよく学習すること。さらに過去問の研究を通して融合問題まで手を広げておきたい。

また、証明問題もよく出題されるから、しっかりと対策をする必要がある。